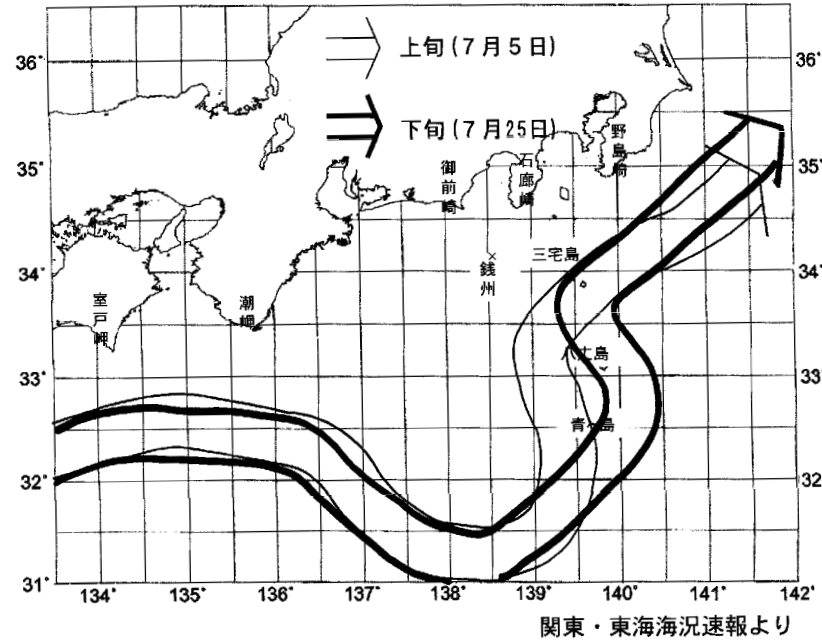


# 漁海況月報

平成 30 年 7 月 1 日

No. 7 ~7 月 31 日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



7 月定地水温の旬平均値 ( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	21.9	20.5	21.3	24.4	25.6	23.2
	-0.1	-0.7	-0.3	1.6	2.8	0.5
中旬	24.9	23.5	23.6	26.9	26.4	26.3
	1.9	1.8	1.8	2.9	2.4	2.5
下旬	25.9	26.0	26.3	27.7	26.7	27.6
	1.6	3.3	3.4	2.7	1.9	2.8
月	24.3	23.4	23.7	26.4	26.3	25.7
	1.1	1.5	1.6	2.4	2.4	1.9

\* 地頭方の水温観測は終了しました。

## 【黒潮流路】

7 月を通じて A 型で、上旬は潮岬沖 32.5°N から南東に進み、31.5°N、138.5°E 付近から伊豆諸島の西を北上し、八丈島の西 139°E 付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖 32.5°N から南東に進み、31.5°N、137.5°E 付近から東北東に向かい、八丈島の南西 32°N 付近から伊豆諸島上を S 字状に北上し、三宅島の東 140°E 付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖 32.5°N から南東に進み、

31°N、138.5°E 付近から北東に向かい、青ヶ島の南 32°N から伊豆諸島上を S 字状に北上し、三宅島の東 34°E 付近から北東に流去した。

## 【県下沿岸域】

7 月上旬は、稲取「やや低め」、伊東、下田「平年並」、焼津「やや高め」、雲見「高め」、沼津「かなり高め」であった。中旬は、伊東、稲取、下田、沼津「高め」、雲見、焼津「かなり高め」であった。下旬は、伊東、沼津「高め」、稲取、下田、雲見、焼津「かなり高め」、であった。

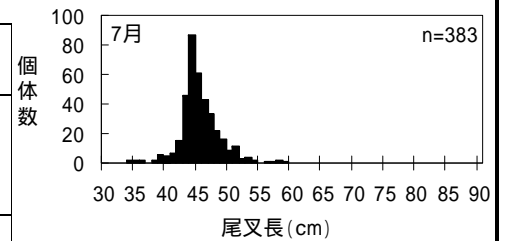
## 【竿釣りカツオ】

7 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は 154 トンで前年同月 (167 トン) の 92% であった。魚価は 248 円/kg で前年同月 (358 円/kg) を下回った。

漁場は 33-35°N、138-140°E の伊豆諸島周辺や駿河湾沖の海域であり、水揚げされた魚体の主体サイズは、小(尾叉長 44cm モード)、極小(尾叉長 42cm モード)、中(尾叉長 51cm モード)であった。

竿釣り (近海+沿岸船) カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
30 年 7 月上旬	63	26	2.4	286
中旬	57	17	3.3	222
下旬	34	7	4.9	195
30 年 7 月計	154	50	3.1	248
29 年 7 月計	167	66	2.5	358
28 年 7 月計	75	24	3.1	368



## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統 (伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚量は 424.2 トンで前年の同漁場の水揚量 (378.8 トン) の 1.1 倍であった。また、1 か統あたりの平均水揚量は、60.6 トンで前年 (54.1 トン) の 1.1 倍、平年 (昭和 57~平成 29 年の平均 41.9 トン) の 1.4 倍であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場 (129.5 トン、マイワシ、さば類、ウルメイワシ)、次いで古網漁場 (122.5 トン、マイワシ、さば類、カタクチイワシ) であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁 (表) の通りで、マイワシは 208.2 トンで前年比 3.2 倍、平年比 5.8 倍と好調であり、漁獲サイズは小羽主体に中羽も混じった。さば類は 123.0 トンで前年比 1.0 倍、平年比 1.2 倍でゴマサバ主体であった。また、さばっこ (当歳魚銘柄) は 9.4 トンで、前年比 2.3 倍、平年比 1.5 倍と前年平年を上回った。カタクチイワシは 48.5 トンで前年比 76%、平年比 1.9 倍であった。ブリは 7.1 トンで前年比 12%、平年比 38% と低調で、銘柄わらさ主体であった。銘柄わらさは 5.3 トンで前年比 10%、平年比 93% と前年を大きく下回った。イサキは 6.4 トンで前年比 1.2 倍、平年比 1.8 倍であった。その他の魚種については、シイラが 1.0 トンで前年比 17%、平年比 7% と前年平年を大きく下回った。一方、ホウボウが 1.7 トンで前年比 9.7 倍、平年比 25.0 倍と前年、平年を大きく上回り、7 月の漁獲量としては昭和 58 年以降最も漁獲量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は次頁 (表) の通りで、マイワシは古網漁場が 51% (105.7 トン)、伊豆

山漁場が40%(83.7トン)、さば類は北川漁場が38%(47.3トン)、伊豆山漁場が32%(39.9トン)、カタクチイワシは富戸漁場が55%(26.8トン)、川奈漁場が36%(17.4トン)、ブリは富戸漁場が48%(3.4トン)、赤沢漁場が21%(1.5トン)、イサキは北川漁場が47%(3.0トン)、谷津漁場が37%(2.4トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	208.2	3.23	5.79	古網、伊豆山
さば類	123.0	1.01	1.16	北川、伊豆山
カタクチイワシ	48.5	0.76	1.86	富戸、川奈
ブリ	7.1	0.12	0.38	富戸、赤沢
イサキ	6.4	1.20	1.75	北川、谷津

**[ サバ 棒 受 網 ]**

小川港所属の棒受網漁船は棒受網で操業し、漁場は月を通じてひょうたん瀬、下旬には一時的に三本にも形成された。水揚量はゴマサバ608トン(前年同月比95%)であり、1隻あたり水揚量はゴマサバ15.2トン(前年同月22.1トン)であった。マサバの水揚げはなかった。

ゴマサバの1kgあたり平均単価は93円で前月(93円)と同額であり、前年同月(79円)を上回った。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長27cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
30年7月上旬		322	6	16		20.1		99	ひょうたん瀬
中旬		226	6	20		11.3		88	ひょうたん瀬
下旬		60	1	4		15.0		86	ひょうたん瀬 三本
30年7月計		608	13	40		15.2		93	ひょうたん瀬
29年7月		642	12	29		22.1		79	三宅
28年7月	0	697	13	29	0	24.0	324	87	三宅 三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

**[ シラス 船 曳 網 ]**

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が172kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が245kgであった。平均水揚量は219kgと前年同期(99kg)の2.2倍、平年同期(過去5か年平均:256kg)の86%であった。また、総水揚量は300.9トンで前年同期(92.9トン)の3.2倍、平年同期(311.9トン)の96%と、前年同期を上回り、平年同期並であった。平均単価は1,408円/kgと、前年同期(1,186円/kg)の1.2倍、平年同期(677円/kg)の2.1倍と、前年同期

と平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	27.2	10	123	221	1,251
舞 阪	99.5	10	388	256	1,377
福 田	68.9	10	258	267	1,347
御前崎	20.5	11	111	185	1,488
吉 田	27.7	11	202	137	1,538
静 岡	57.2	14	291	197	1,516
平成30年7月計	300.9	66	1,373	219	1,408
平成29年7月計	92.9	55	935	99	1,186
平成28年7月計	848.0	97	2,188	388	629

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成25~平成29年)平均値

**[ まき 網 ( い わ し 類 ) ]**

マイワシの水揚量は、小川港では12.8トン(前年同月比5.4倍、平年同月比2.6倍)、沼津港では170.7トン(前年同月比2.1倍、平年同月比4.3倍)、静浦港では35kg(前年同月比43.8%、平年同月比90.7%)、伊東港では95.6トン(前年同月比49.5倍、平年同月比24.1倍)であった。カタクチイワシの水揚量は、小川港では41.5トン(前年同月比96.7%、平年同月比1.2倍)、沼津港、静浦港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚量は、マイワシが208.2トン、カタクチイワシが48.5トンであった。

\*平年:過去5か年(平成25~平成29年)平均値

**[ 調 査 船 駿 河 丸 の 動 向 ]**

7月 2日 ~ 7月 3日	地先定線観測調査	(2日間)
7月 9日 ~ 7月 10日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
7月 17日 ~ 7月 18日	キンメダイ食害調査(伊豆)	(2日間)
7月 23日 ~ 7月 24日	サクラエビ調査(面積密度)	(2日間)
7月 25日 ~ 7月 26日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

